

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年3月29日

【評価実施概要】

事業所番号	2071100222		
法人名	特定非営利活動法人 明日のシニア社会を考える会		
事業所名	ヒューマンヘリテージ安源寺		
所在地	長野県中野市安源寺975-1 (電話) 0269-24-0606		
評価機関名	特定非営利活動法人環境・福祉事業評価センター		
所在地	長野県長野市南高田2-5-16		
訪問調査日	2009年3月25日	評価確定日	2009年3月31日

【情報提供票より】(21年3月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年3月18日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	9人, 非常勤 人, 常勤換算7人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	64,980円	その他の経費(月額)	管理費	円
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(231,000円) 無	有りの場合償却の有無		有/無
食材料費	朝食	200円	昼食	300円
	夕食	300円	おやつ	42円
	または1日当たり	842円		

(4) 利用者の概要(3月13日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名	
要介護1		2名	要介護2		2名	
要介護3		0名	要介護4		5名	
要介護5			要支援2			
年齢	平均	83.2歳	最低	72歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北信総合病院、新生病院、アライクリニック、広田医院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は中野市西部の中野インター近くのりんご畑の田園風景に溶け込んだ洋風二階建てのしゃれた施設である。経験豊富で知識も豊富な職員が配置されており利用者に安心と信頼感を与えている。「自宅ではない在宅を目指して」を基本理念として「その人らしくゆったりのびのびと、尊厳ある暮らし」を目指している。地域に開かれた運営と質の高いサ-ビスを追求することを運営方針としており、課題解決に継続的に前向きに取り組んでいる。開所時からの理念を大切に大規模施設では実現が難しいホスピタリティ-の心を持ってサ-ビスの向上に努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回で4回目の自己評価になる。改善活動の取組み項目を多く掲げて取り組んでいる。外部評価で報告された課題(職員研修、災害時対応等)について検討し改善に取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員が自己評価に取り組み、話し合って作成している。自己評価の内容については前回の自己評価を踏襲する部分が多かった。他のグループ-ムとの相互の自己評価の実施については良い事例として評価できる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2回開催されている。会議ではホ-ムでの近況や行事、地域密着サ-ビス、看取り、GH消防法の改正、地元の区やホ-ム側からの案件・要望等が話し合われている。今後更に臨時会議も含め開催回数を増やしたいと考えている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の面会時や家族会(年1回行事に合わせて開催)の機会に意見や要望を聞いている。出された意見、苦情等については全体会議で検討され運営に反映されている。ヒヤリハット等でも苦情について運用する仕組みがある。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域住民の1人として区費を納めている。気軽に野菜やくだものを届けてくれ地域住民の中に溶け込んでいる。公民館活動や地域での行事に参加し連携を深めている。地域の小学校との交流は毎年継続し連携している。防災についても近所の協力が得られておりバ-ベキュ-大会等で近所との交流も進んでいる。</p>

2 . 調 査 報 告 書

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「毎日の暮らしの中でその人らしい生き方を見つけ出していただくと共に、ここで暮らすことが人生の中で一番幸せと感じていただけるような家庭的なホ - ムを目指します。」との理念をつくり上げている。		大規模施設では実現が難しいホスピタリティ - のこころ持ってサ - ビスに努めている。開所時の理念をフィ - ドバックしながら利用者の終の棲家としての使命を果たしてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月全体会議で理事長からの理念の講話を通じ職員と一丸となり理念の共有に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	お花見、お祭り、どんど焼きなどの地区の行事に参加している。また中野小学校、高丘小学校とは運動会や文化祭等に参加し交流している。バ - ベキュ - 大会を開催し近所に開放している。近所の人には野菜やくだものを気軽に持ってきてくれる。		自治会行事などへのかかわりの機会を徐々に増やし、更に地域の人々に理解協力が得られる努力を重ねてほしい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全ての項目について丁寧に実施している。また他のグル - プホ - ムと相互に自己評価しようとする取組みがみられる。自己評価は前回の内容を踏襲しているが具体的な改善に結びつける点については改善の余地があった。		自己評価については前回の踏襲が多く改善や予防措置に具体的に結びつくような活用を望みます。また外部評価はスキルアップの機会でもあるので活用し改善に取り組んでほしい。

ヒューマンヘリテージ安源寺

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>年2回開催している。ホ - ムの近況報告や話し合いをしている。家族代表、行政、地域包括、理事長、管理者、計画担当がメンバーとして参加している。地域密着型サービス、看取り、GH改正消防法等について話合われている。</p>		<p>運営推進会議の意義及び話し合う内容、研修のあり方などのついて検討し定期的開催してほしい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当者や包括支援センターとは生活保護、独居家族の支援について具体的な連絡を取り合い、相談、報告している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の生活の様子は「ホ - ムだより」と家族との面会時に口頭で伝えている。金銭については個人別の「小遣い帳」により管理している。内容については家族の面会時に確認している。</p>		<p>利用者さんの様子について定期的に家族にお知らせする仕組みは出来ている。預り金の管理については適正に処理されていたが家族への会計報告については定期的に報告する方法についても検討願いたい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>定期的に利用者個別に家族等の意見を反映させる仕組みは設けていないが、家族からの電話や家族の面会時や家族会を機会に意見や要望を聞いている。意見や要望については全体会議で反映させている。年1回の家族会を開いている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職職員1名、異動職員1名があったが、現在は同一職員により安定している。あらかじめ利用者、家族に報告し、利用者の情緒を十分配慮するよう努力している。アンケートからはさらに異動について報告を求めることに改善の余地があった。</p>		<p>アンケートの内容を参考に家族との情報共有に重ねての配慮をお願いしたい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ひとくち勉強会を月1回実施している。また北信グル-ブホ-ム交流会での外部研修に参加し、全職員が研修や勉強会に参加できるよう計画的に行おうとしており他のグル-ブホ-ムでの研修を積極的に進めている。</p>		<p>現場での勉強会は積極的に進めている。管理者や職員の個人毎の力量や段階に応じた教育訓練計画や研修の効果の評価についての取組みや一般職員の外部研修の受講について更に向上させることを望みたい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>北信グル-ブホ-ム交流会に参加しサービスの向上に取り組んでいる。相互評価(交流会)を通じサ-ビスの向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族の宿泊にも対応した3日間程度のお試しにより納得した上でサ-ビスを利用することを基本としている。場の雰囲気に馴染めるような家庭的安心感が感じられる。理念である我が家と思える雰囲気作り引き続き努力されたい。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の生活経験や習慣を尊重し活かして過ごすように努めている。食材の皮むきなどを楽しんだり、食事の後片付け、掃除、洗濯、バスタオルのたたみなど支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員や介護相談員に相談しやすい雰囲気心がけている。本人の希望や意向に配慮した検討は介護計画の作成に活かされている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者ごとの到達すべき目標を設定した介護計画を作成し、暮らしの課題について、本人、家族の意見等を介護計画に活かしている。利用者の情報把握には職員会議等で十分検討しより良いサービスを続けてほしい。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>変化に応じて本人、家族、医療関係者と話し合い、見直すよう努力している。介護計画の見直しについては検討されている事例があるが家族との話し合いの経過の記録が確認できず改善の余地があった。</p>		<p>介護計画は定期的にも直し、家族担当職員などの意見に基づきより良いサービスの実践に努められたい。</p>
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>多機能室を設けており、ゆったりとした空間を共有できる。地域サロンや子育て支援等の活用ができる。また、家族訪問時のくつろぎの場、相談の場として柔軟に対応している。</p>		


外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族と相談しかかりつけ医の受診を支援している。緊急時は北信総合病院との連携により対応し適切な医療を受けられるよう支援している。		かかりつけ医は決まっており、往診の対応はできている。夜間や急な利用者の病変の対応について、他の施設との連携、かかりつけ医の追加や看護師の配置等さらに支援を継続して強化できる方法を検討することを望みます。
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対する対応方針を決め、職員での研修を重ねている。終末期の利用者について家族の要望を尊重し、自宅での看取りを支援した実例がある。		家族との話し合いを進め終の棲家としての機能を考慮しながら、終末期対応を全職員でさらに積極的に取り組むことを望みます。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の保護やプライバシーの確保については職員が誓約書を提出する等で仕組みはできている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れはおおまかに決まっている。一人一人に利用者の状況を確認しながらペースを大切にして支援している。		

ヒューマンヘリテージ安源寺

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みを活かしながら事前に1週間の献立を作成している。明るい部屋で家庭的雰囲気での食事が準備が出来ている。食事盛り付けや色合いを個人ごとに工夫している。後片付けも食器拭きなど利用者の力を活かしながら支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2日入浴することを原則としている。毎日入浴が可能で曜日の制限を設けていない。時間も1人1人の希望やタイミングを大切にしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴を活かした掃除、洗濯のたたみ、食器拭きを支援している。また食材の皮むき等を楽しみながら用意をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	墓参り、自宅、美容院、受診、銀行、買物等の外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠はせず、チャイムや見守りによるケアを実践している。夜については家族の了解を得て、利用者の安全を確保する必要がある場合は施錠する必要がある。		

ヒューマンヘリテージ安源寺

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者を選任し岳南広域消防本部の研修を受講している。近隣の人々との協力についても同意書が得られている。自主的な火災訓練については行われているが定期的な訓練計画は策定されておらず改善の余地があった。</p>		<p>運営推進会議では消化設備についてはスプリンクラ - の設置等を検討しているので確実な実施を期待したい。また毎年の消防訓練により内容を評価しよりリスク管理を向上させることを望みます。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士に献立、栄養バランスのアドバイスを受けている。摂取量や水分量については個人日誌に記録され確保されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>オ - ルバリアフリ - の食堂、居間、廊下と柔らかな照明により快感な空間を創りだしている。掃除も行き届いている。雛人形も飾られており季節の演出を工夫している。</p>		<p>冬季であり生花の飾りつけは難しいと思われるが、野の花など自然あふれる空間作りに更に努力を続けてほしい。</p>
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には家族写真、使い慣れた机等の家具や身の回り品を持ち込むことに配慮している。居室にはテレビ、電話やFAXがあり居心地良い工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。